

登録地域建造物資産



第24号

宗興山 禅隆寺

しょうこうざん ぜんりゅうじ

所在地	東区飯田町36
年代	江戸初期(元和9年頃)移築
用途	寺院

飯田町の交差点近くにある禅隆寺は山門を入ると、もみじの美しい庭の奥にひっそりとたたずんでいる。牡丹や波の装飾彫刻や獅子、獺の木鼻が禅宗の寺院建築の特徴を出している。縁の突き当りには蓮の描かれた脇障子があり荘厳な中にも華やかさがある。もみじの紅葉も美しく見物客でにぎわうそうだ。庭も含めて趣のあるスポットである。

